



令和6年度町政執行方針

ともに挑戦する 栗山新時代の「成長の時」

令和5年栗山町議会3月定例会議で佐々木学町長が町政執行方針を示しました。先人が築いた「ふるさと栗山」の未来を展望し、新年度を栗山新時代の「成長の時」と位置づけ、町政執行に臨む決意を述べました。

2024
Kuriyama Town

令和6年度

町政執行方針

はじめに、元日に発生いたしました能登半島地震において、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、今なお不自由な暮らしを余儀なくされている多くの被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

そして、一日も早い復旧と日常を取り戻せるよう、切に願うところであります。

世界的に猛威を振るつた新型コロナウイルス感染症が昨年5月、5類感染症に移行となり、「自粛」から「活動」の時へと、徐々に社会全体が回復基調にある中で、今、心に思うことは、町民皆さんへの「感謝」の念であります。

日々最前線で命と健康を守り続けた医療・福祉関係者の皆さん、厳しい経営環境の中、事業を継続し雇用と経済を守り続けた事業者の皆さん、そして、感染拡大防止に努められた町民の皆さん。多くの

方々のご理解・ご協力があったからこそ、この未曾有の事態を乗り越えることができたものであり、あらためて心から感謝を申し上げます。

その一方で、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発したエネルギー価格の上昇は、生活必需品や様々なサービスの価格にも影響を及ぼすなど、経済の方向性を大きく変えるものであり、また、その先行きも懸念されているところであります。依然として、厳しい社会情勢に直面しておりますが、今後におきましても、その状況や推移をしっかりと見極めながら、安全・安心な暮らしを支えるための対応に、万全を期してまいります。

さて、私が多くの町民皆さんの力強いご支援を賜り、2期目の町政を担わせていただいていたから早や2年が経過しようとしております。

町長就任からこれまでの

間、地震や台風など相次ぐ自然災害への対応、そして、今般の新型コロナウイルス感染症との闘いなど、まさに、試練の時を駆け抜けてきたところでありますが、その一方で、ふるさと栗山の未来への基盤づくり、また、栗山赤十字病院の建替や栗山高等学校・北海道介護福祉学校の維持・存続など、先送りのできない町政課題の解決に向けた取組を鋭意進め、その一つひとつが今、ようやく実を結び始めようとしております。

これら一つひとつの動きを確かなものとするため、あらゆる状況を俯瞰しながら、時代の変化に対応した実効性の高い政策を推進し、未来への可能性を実現へと導いてまいります。

新年度の町政執行に当たり、「5つの基本目標」を掲げ、決意を新たに全力で町政を推進してまいります。

1 「賑わいに満ちたまち」の推進

エネルギー価格高騰の影響が長期化し、厳しい経済状況が続く中、持続可能な地域経済を確立するためには、基幹産業である農業を軸に各産業の体質強化や新たな地域産業の創出など、地域資源を活かした基盤づくりが必要です。

その重点施策として、地域産業を支える担い手の育成、生産性や能率性の高い栗山農業の確立、魅力ある商店街づくりと賑わいの創出、トップセールスによる企業誘致の推進、栗山煉瓦創庫くりふとを核とした新たな関係人口の創出などに取り組みます。

豊かな地域資源を最大限に引き出し、力強く成長する「賑わい満ちたまち」を築きます。

2 「優しさあふれるまち」の推進

コロナ禍によって日々の生活様式が変化している中、町民一人ひとりが健やかで心豊かに生活するためには、健康意識の高揚や医療供給体制の確保、地域包括ケアシステムの充実など地域全体で支え合

う仕組みづくりが必要です。

その重点施策として、生活習慣病予防対策や健康寿命延伸のまちづくりの推進、栗山赤十字病院の建替や医療供給体制の構築、ケアラー支援体制の拡充、地域社会のデジタル化の推進などに取り組みます。

町民誰もが、笑顔たやさず生きがいを持って暮らすことができる「優しさあふれるまち」を築きます。

3 「夢叶えるまち」の推進

次代を担う子どもたちが、心身とも健やかに成長し、ふるさとに夢と希望を持ちながら活躍し続けるためには、安心して子どもを産み育てられる環境づくりや、栗山らしい教育環境づくりが必要です。

その重点施策として、子育て世代包括支援センターを核とした総合的な子育て支援、栗山の地域資源を活かしたふるさと教育の推進、栗山高校の魅力づくりや北海道介護福祉学校との連携による教育モデルの推進などに取り組みます。

地域全体で子育てをサポートし、子どもたちが元気に活

躍できる「夢叶えるまち」を築きます。

4 「魅力輝くまち」の推進

ふるさとの豊かな自然環境や歴史・文化など、かけがえない財産を守り、未来につないでいくためには、その魅力を共有し、さらに磨き上げていく必要があります。

その重点施策として、ハサンベツ里山など自然環境の保全・再生、若者や子育て世代の移住・定住を促進する住環境づくり、文化財や伝統文化の保護・活用、カーボンニュートラル実現に向けた地球温暖化対策の推進などに取り組みます。

受け継がれてきた自然や歴史・文化などを肌で感じながら、守り育てていく「魅力輝くまち」を築きます。

5 「共に創るまち」の推進

社会情勢の急速な変化や、直面する様々な地域課題に対応するためには、町民と行政との協働による、自立したまちづくりが必要です。

その重点施策として、災害

時の情報伝達手段の構築など地域防災力の強化、地域情報の発信拠点となるコミュニティFM放送の活用、南空知圏域など広域連携による地域づくりの推進、女性活躍や男女共同参画の推進などに取り組みます。

また、これら5つの基本目標のほか、行政運営面に関する調査特別委員会^{※2}における審査報告を踏まえ、業務の効率化や職場環境の改善、職員の意識改革や能力育成など、組織力強化に向けた取組を計画的かつ着実に進めてまいります。

町民と行政が力を結集し、ふるさとの未来を創造していく「共に創るまち」を築きます。

以下、新年度の主要施策の概要を「栗山町第7次総合計画」における分野別政策の基本方針に沿って申し上げます。

心豊かに暮らせるふるさとづくり

持続可能な循環型社会の実現に向けて、排出ごみの抑制や再生可能エネルギーの活用など、環境への負荷を低減する取組を推進します。

また、地域防災力の強化を図るとともに、交通安全対策や防犯活動を推進し、町民の安全・安心な暮らしの確保に取り組みます。

◇ごみ処理

町民との協働による適正な分別により、減量化や再資源化を図ります。

^{※1} 栗山町経営改革推進計画
第7次栗山町総合計画で目指すまちづくりを推進するための指針。町の財政基盤を維持し、適正な職員数の確保や施設の維持、実施事業の選択、労働生産性の改善などを行い、住民サービスの質の向上を目指します

^{※2} 行政運営に関する調査特別委員会



行政手続きの不適正な業務処理が今後発生しないよう町議会による要因・再発防止策に関わる調査が行われました



コミュニティスペース

図書館内での会話、飲食を自由楽しめるコーナー。勉強や休憩に利用される方が多く、館内には新たに自動販売機も設置された



栗山高校女子硬式野球部

栗山高校の魅力づくり活動の一環として始動した女子硬式野球部。今年も道内外から入部希望者が入学し、30人以上の部員数となる予定



防災訓練

町内会・自治会、まちづくり協議会など、地域で行われている防災活動のサポートを行っています



栗山町地球温暖化対策実行計画

ゼロカーボンシティの実現に向けて、地球温暖化対策の推進を目的とした計画

- ▼また、本年4月からの広域焼却処理開始に伴う、新たな分別方法の周知徹底を図るなど、円滑に事業を推進します。
- ◎**今年の約束**
- ▼ごみ分別の徹底、再資源化を推進します。
- ▼広域焼却処理事業を円滑に推進します。
- ▼ごみステーションの設置・修繕を支援します。
- ▼生ごみ堆肥化容器などの購入を支援します。
- ◇**環境・エネルギー**
- ▼「栗山町地球温暖化対策実行計画」に基づき、太陽光発電による再生可能エネルギーの導入を支援します。
- ▼また、カーボンニュートラル実現に向け、全町的な機運の醸成を図るとともに、温室効果ガス排出抑制の取組を推進します。
- ◎**今年の約束**
- ▼住宅用太陽光発電システム設置費の助成を拡大します。
- ▼カーボンニュートラルに取り組む事業者を支援します
- ▼地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を見直します。
- ◇**防災**
- ▼自主防災組織の設置支援や

- ▼程の充実を図ります。
- ▼また、就学前教育と小・中学校との円滑な接続を図るため、幼保小中一貫教育連携プログラムを推進するとともに、小・中学校の適正配置について検討を進めます。
- ▼さらに、栗山高校については、生徒の資質向上や希望進路に対応するための各種支援制度を充実するとともに「魅力化ビジョン」の実現に向け、北海道介護福祉学校を基軸とした産学官連携による教育モデルの構築、女子硬式野球部の活動支援など、魅力ある高校、選ばれる学校づくりを推進します。
- ◎**今年の約束**
- ▼いじめの防止等に関する条例に基づく取組を推進します。
- ▼小・中学校の適正配置について検討を行います。
- ▼幼保小中一貫教育連携プログラムを推進します。
- ▼中学校部活動の地域移行に向けた協議を進めます。
- ▼ICTの活用により教育活動を充実します。
- ▼栗山高校の魅力化ビジョンを推進します。
- ▼学生寮の増築を行います。

- ▼関係機関・団体と連携した防災訓練を実施するとともに、避難行動要支援者個別計画を策定するなど、全町的な防災体制を強化します。
- ▼また、災害用物資の計画的な確保を図るとともに、コミュニケーションF Mなどによる災害時の情報伝達手段を充実します。
- ◎**今年の約束**
- ▼自主防災組織の設置・活動支援により地域防災活動を促進します。
- ▼関係機関・団体と連携した防災訓練を行います。
- ▼弾道ミサイル発射想定訓練を行います。
- ▼栗山小学校に非常用発電設備を整備します。
- ▼避難行動要支援者個別計画を策定します。
- ▼コミュニケーションF Mや災害情報メールなど、災害時の情報伝達手段を充実します。
- ◇**消防・救急**
- ▼町民の安全・安心の確保を最優先に、災害発生時に迅速かつ的確に対応できる体制を強化します。
- ▼また、広報活動や火災予防査察の強化など、防火意識の高揚を図るとともに、救急救

- ▼命講習の充実に努め、さらなる救命率の向上を目指します。
- ◎**今年の約束**
- ▼火災予防査察の強化を図ります。
- ▼化学消防ポンプ自動車を更新します。
- ▼消防庁舎外壁改修及び屋上防水工事を行います。
- ◇**生活安全**
- ▼警察署や交通安全協会をはじめ関係機関・団体と連携し、飲酒運転の根絶や高齢者の交通事故防止、登下校時の安全確保など、交通安全運動を推進するとともに、交通安全施設の整備を進めます。
- ▼また、防犯協会や暴力追放運動推進協議会をはじめ関係機関・団体と連携し、防犯カメラの設置や各種巡回等による犯罪抑止の取組を推進します。
- ▼さらに、SNSなどを使った巧妙化する悪質商法や特殊詐欺被害の未然防止に向け、消費者協会などと連携し、相談窓口や情報発信の充実を図ります。
- ▼墓園・墓地については、快適な墓参環境づくりを推進するとともに、合葬墓に関する

- ◇**生涯教育**
- ▼リーダー研修や町民講座、いきいきスクールなど学習の場を提供し、すべての町民が、生涯にわたって学べる環境づくりを推進するとともに、社会教育施設の計画的な整備を進めます。
- ▼また、図書館については、豊かな心づくりを目指し、読書活動を推進するとともに、館内のコミュニティスペースの活用により、誰もが気軽に図書館を利用できる機会を提供します。
- ◎**今年の約束**
- ▼南部公民館のトイレ洋式化工事などを行います。
- ▼図書館システムの更新を行います。
- ◇**自然環境教育**
- ▼「栗山町自然教育中長期計画」に基づき、関係団体と連携し、未来へと継承すべき貴重な財産である自然・里山環境の保全活動を進めます。
- ▼また、雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウスを拠点とし「ふるさと自然体験教育」の充実を図るなど、人と自然が共生するまちづくりを推進します。
- ◇**学校教育**
- ▼学習指導要領の目指す方向性を踏まえ、子どもたちの感性や道徳心、知性、体力を育み、人間性豊かに成長する教育を推進するとともに、学校・家庭・地域・関係機関の連携・協働による、開かれた教育課



栗山町商店街活性化 アクションプラン

令和５年度から令和８年度までを計画期間として、商店街振興を具体的に・戦略的に推進していくための指針



ケアラーサポーター

「傾聴」「気づき」「情報提供」「つなぎ」を役割とし、手紙や電話での近況確認や自宅への訪問活動を行う町民ボランティアの皆さん

健康で生きがいを感じる ふるさとづくり

すべての町民が心身ともに健やかに、笑顔あふれる日々を過ごせるよう、医療・保健・

組むとともに、地域の特色を捉えた新たな文化財の発掘・指定について検討します。

◎今年の約束

▼伝統文化・郷土芸能の継承や文化活動などを支援します。

▼札幌ひなまつりコンサートなど芸術文化鑑賞事業を支援します。

◇国際・地域間交流

まちの将来を担う子どもたちの豊かな感性や国際感覚を育むため、「少年ジェット希望の翼」や英語コミュニケーションスキル研修を実施するとともに、姉妹都市角田市との交流事業を継続します。

◎今年の約束

▼少年ジェット希望の翼事業を行います。

▼英語コミュニケーションスキル研修を行います。

▼角田市との子ども交流事業及び勤労青年研修事業を行います。

福祉・介護サービスの一層の充実を図ります。

また、子育て世代が、安心して子どもを産み育てることができるよう、切れ目のない子育て支援を推進します。

◇保健

「第２期栗山町健康増進計画」に基づき、特定健診及びがん検診の受診率向上を図るとともに、生活習慣病の発症や重症化の予防に向けた保健指導を充実します。

また、「健康寿命延伸のまちづくり宣言」に基づき、町民の主体的な健康づくりを支援するとともに、地域のつながりを強化し、企業や団体の協力を得て、まち全体で健康づくりに取り組みます。

◎今年の約束

▼若年層への健診を行います。

▼健康測定機器を活用した健康チェック事業を行います。

▼健康器具を活用したウォーキング事業を行います。

▼こころの健康づくり事業を行います。

▼くりやま健康マイレージ事業を推進します。

◇地域医療

将来にわたり町民が安心して医療を受けられるよう、持続可能な医療供給体制の構築に向けた協議を進めます。

また、栗山赤十字病院と連携し、病院の建替工事を推進するとともに、救急医療体制及び地域医療機能の確保に係る支援を引き続き行います。

さらに、オンライン診療導入に向けた環境整備のため、町内医療機関と連携したモデル事業を進めます。

◎今年の約束

▼栗山赤十字病院の建替工事を推進します。

▼救急医療体制及び地域医療機能の確保に係る栗山赤十字病院への支援を行います。

▼訪問看護の充実に向けた協議を進め在宅医療を推進します。

▼産婦人科・小児科オンライン相談を行います。

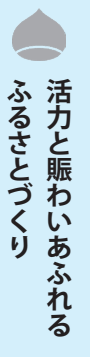
▼オンライン診療導入に向けたモデル事業を進めます。

◇児童福祉

妊娠から出産、子育て期まで切れ目のない支援を推進するとともに「第３期栗山町子

充実を図ります。

▼障がいに対する町民理解の促進を図ります。



基幹産業である農業をはじめ地域産業の活性化に向けて、本町の特性や資源を活かして産業力の強化を図るとともに、地域産業を支える人材の育成・確保に取り組みます。

◇農林業

関係機関・団体と連携し「第５期栗山農業ルネッサンス」に基づき、担い手への農地の集積や生産性の高い農業を推進するとともに、安全・安心で良質な農産物の生産を促進します。

また、農業後継者の育成や新規就農者の受入など、地域農業を担う多彩な人材の育成・確保に取り組みます。

さらに、「栗山町森林整備計画」に基づき、南空知森林組合をはじめ関係機関・団体、企業と連携し、森林づくり基金や森林環境譲与税を有効活用した適正な森林整備を進めるとともに、森林空間の活用による森林環境教育や関係人

ども・子育て支援事業計画」を策定してまいります。

また、虐待や貧困など、子育て世帯に対する包括的な支援体制を強化するため「子ども家庭センター」の設置に向けて検討を進めます。

さらに、子ども発達サポートセンターを中心に、心身に障がいや発達に遅れがある子どもの早期発見や早期療育への取組を進めます。

◎今年の約束

▼第３期栗山町子ども・子育て支援事業計画を策定します。

▼不妊治療費の助成を行います。

▼新生児世帯に子育て応援券を配付します。

▼ファミリー・サポート・センター事業の充実を図ります。

▼支援が必要な家庭やヤングケアラーへの適切な支援を行います。

▼子ども家庭センター設置に向けた検討を行います。

▼子ども・子育て条例の制定に向けた検討を行います。

▼障がい児の通所費用等を助成します。

◇高齢者福祉

「第９期栗山町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、総合的な相談支援や介護予防教室などを行うとともに、地域の特性を活かした地域包括ケアシステムの推進に向け、医療と介護の連携強化を図ります。

また、町内における介護人材の育成・確保に向けた支援を推進します。

◎今年の約束

▼介護予防教室の充実を図ります。

▼配食サービス事業を行います。

▼除雪サービス事業を行います。

▼介護人材の育成・確保に係る支援を行います。

◇地域福祉

地域や民生委員・児童委員、社会福祉協議会など関係機関・団体と連携し、高齢者や障がいのある方の積極的な社会参加を図るとともに、見守りや声掛けなど地域での支え合い活動を支援します。

また、「第２期栗山町ケア

業の進出動向など、情報収集に努めながら、積極的な企業誘致活動を展開します。

◎今年の約束

▼空き店舗・空き地の活用を支援します。

▼商店街地域カードの電子化に向けた取組を検討します。

▼積極的な企業誘致活動を展開します。

◇観光・交流

関係機関・団体と連携し、新たな観光推進体制の構築に向けた「栗山町観光振興計画」を策定するとともに、栗山煉瓦創庫くりふとを拠点に、関係人口の創出とまちの賑わいづくりを進めます。

また、移住コーディネーターを中心とした相談体制の充実を図るとともに、ＵＩＪターなどの移住者支援やクリエイターの定着促進など、移住・定住促進の取組を推進します。

◎今年の約束

▼栗山町観光振興計画を策定します。

▼関係人口の創出とまちの賑わいづくりを進めます。

▼ＵＩＪターに移住支援を行います。

▼Uターーン等促進奨学金返
済助成を行います。
▼クリエイター移住支援事業
を行います。

◇雇用環境

雇用環境については、町内
事業所の労働環境の実態を把
握するとともに、ハローワー
クをはじめ関係機関・団体と
連携し、就業希望者への適切
な情報提供など、雇用の促進
を図ります。

また、従業者の資格取得支
援制度を創設し、町内事業者
の人材育成や生産性向上の取
組を支援します。

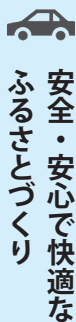
さらに、南空知通年雇用促
進協議会と連携し、季節労働
者の通年雇用化を図ります。

◎今年の約束

▼雇用労働実態調査を行いま
す。

▼従業者の資格取得支援制度
を創設します。

▼季節労働者の資格取得を支
援します。



誰もが快適に暮らせるまち
づくりを推進するため、安全・
安心な生活基盤の充実・強化

を図るとともに、機能的で賑
わいのある都市基盤づくりを
進めます。

◇道路・交通

快適で安全な道路環境を確
保するため、道路改良や橋梁
補修など計画的な道路網の整
備を進めるとともに、冬期間
における道路交通網を確保す
るため、地域と連携を図り、
効率的な除排雪事業を進め
ます。

また、国・道が管理する道
路の整備促進について、官民
一体となり引き続き関係機関
へ強く要請します。

さらに、地域公共交通につ
きましては、沿線自治体や関
係機関・団体と連携し、民間
バス路線やJR室蘭線の維持・
利用促進に向けた取組を推進
するとともに、町営バスの運
行体系の見直しや、近隣自治
体との相互協力による運行手
段の検討など、持続可能な交
通ネットワーク体系を構築し
ます。

◎今年の約束

▼杵臼本線の道路改良を行
います。

▼錦1号線の歩道整備を行
います。

▼ふれあい橋を補修します。
▼除排雪事業在り方検討会議
の協議を進めます。

▼歩道ロータリー除雪車を更
新します。

▼国道234号整備促進期成
会による要望活動を行
います。

▼新町通街路及び夕張長沼
線等の整備促進を要望し
ます。

▼町営バス・コミュニティ
バスの運行を一部見直し
ます。

▼北広島市までのデマンドバ
ス試験運行を行います。

◇住宅・住環境

「栗山町住生活基本計画」及
び「栗山町公営住宅等長寿命
化計画」に基づき、公営住宅
の建替や修繕を計画的に進め
るとともに、良好な住環境を
形成します。

また、管理不全な空き家へ
の指導や解体の支援など、誰
もが安心して暮らせる生活環
境の充実を図ります。

さらに、若者・子育て世代
の移住者への住宅取得支援を
継続するとともに、空き家の
利活用に向けた情報提供や
マッチング、相談体制を強化

するためのプラットフォーム
の構築など、定住しやすい環
境整備を推進します。

◎今年の約束

▼中里団地を建て替えます。

▼危険な特定空家等の対策に
取り組みます。

▼人にやさしい住宅助成事業
を行います。

▼若者・子育て世代の移住
者への住宅取得を支援し
ます。

▼空き家利活用に係るプラッ
トフォームの構築を図り
ます。

◇上・下水道

「栗山町水道ビジョン・ア
セットマネジメント」に基づ
き、水道施設の計画的な更新
を進めるなど、良質で安全な
水道水を供給します。

また、「栗山町公共下水道ス
トックマネジメント」に基づ
き、下水道施設の計画的な更
新を進めるとともに、個別排
水処理施設事業を推進し、生
活排水処理環境のさらなる改
善を図ります。

▼老朽水道管などを計画的に
更新します。

▼栗山町水道ビジョン・アセッ

トマネジメントを改定し
ます。
▼下水道施設の機器を更新し
ます。

▼栗山町下水道事業経営戦略
を改定します。

▼個別排水処理施設の新規設
置を促進します。

◇河川

全国で相次ぐ自然災害に備
えるため、堆積土砂の撤去や
樹木の伐採撤去など、適正な
維持管理を行います。

また、道と連携した「雨煙
別川かわまちづくり計画」を
推進し、良質な河川空間を創
出します。

さらに、国・道が管理する
河川の治水対策や、魚類など
が遡上しやすい環境整備に向
け、引き続き関係機関に要請
します。

◎今年の約束

▼杵臼川を浚渫します。

▼雨煙別川かわまちづくり計
画を推進します。

◇街なみ・景観

旧継立中学校施設の民間活
用支援や日出生生活館の建替
など南部地域の振興を図ると
ともに、スキー場跡地を含めた

御大師山周辺整備の検討など、
将来を見据えた市街地形成を
推進します。

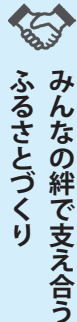
また、「栗山町公園施設長寿
命化計画」に基づき、栗山公
園施設の更新など、魅力ある
都市公園づくりを推進します。

◎今年の約束

▼日出生生活館の建替に係る実
施設計を行います。

▼御大師山周辺整備の検討を
進めます。

▼栗山公園や児童公園施設な
どを更新します。



社会情勢の目まぐるしい変
化を的確に捉え、町民と行政
が相互に連携・協力し、地域
課題の解決に取り組むことに、
これまで培ってきた町民
力を活かした、持続可能なま
ちづくりを展開します。

◇コミュニティ活動

町民主体の地域活動を積極
的に支援するなど、個性豊か
で活力ある地域づくりを推進
します。

また、町内連合会などと協
議を行い、住民自治の基盤強
化や活性化に向けた取組への

支援制度を構築します。

◎今年の約束

▼まちづくり協議会などの地
域活動を支援します。

▼まちの魅力アップ応援事業
を促進します。

▼町内会区域再編支援制度を
構築します。

◇行政経営

安定的かつ効果的な行財政
基盤の構築に向け、DXによ
る業務の効率化や行政サービ
スの向上を図るとともに、人
材育成や人事評価制度の構築
など組織体制の強化に取り組
みます。

また、町税等の納付環境の
充実や適正な収納対策を推進
するとともに、企業誘致活動
と連動した企業版ふるさと納
税のPR強化など、自主財源
のさらなる確保を図ります。

さらに、北海道ボールパー
クや南空知圏域など、広域連
携による地域活性化の取組を
積極的に推進します。

◎今年の約束

▼栗山町DX推進計画を策定
し計画に基づく取組を推進
します。

▼ふるさと納税制度の取組を
強化します。

▼人材育成・確保基本方針を
策定します。

▼北海道ボールパークや南空
知圏域などの広域連携を推
進します。

◇情報共有と町民参加

広報くりやまや町ホーム
ページ、地デジ広報サービス
のほか、新たな情報発信手段
となるコミュニティFM放送
を活用し、適時的確な行政情
報発信と、効果的な情報共有
を図ります。

また、まちづくり懇談会や
町長のふれあい訪問などを通
じて、町民の皆さんとの情報
共有や町政への参加機会の充
実を図るとともに、「栗山町
女性活躍・男女共同参画推進
プラン」に基づき、地域の
環境づくりや意識啓発を図り
ます。

◎今年の約束

▼コミュニティFM放送を
活用し行政情報を発信し
ます。

▼まちづくり懇談会や町長の
ふれあい訪問を充実しま
す。

▼女性活躍・男女共同参画を
推進します。



4年前のこの時期は、
新型コロナウイルス感染
症の先行きが見えず大き
な不安に包まれ、100
年に一度と言われるパン
デミックは、生命や健康
ばかりでなく、社会経済
活動にも大きな傷跡を残
しました。

それを打破してきた原
動力は、人の力であり、
厳しい状況を改善しよう
とする一人ひとりの努力
が、まちの「結束力」を
高め、まちに元氣を取り
戻すことができたのであ
ります。

しかしながら、本町を
取り巻く社会経済情勢は、
依然として、先を見通す
ことのできない厳しい状
況が続いており、また一

方で、加速化する人口減
少や少子高齢化への対応
をはじめ、地域公共交通
の確保、公共施設や学校
教育の在り方検討など、
時代の変遷の中で、新た
な町政課題も山積してき
ております。

このような厳しい時だ
からこそ、私たちに求め
られている「情報収集力」、
「突破力（推進力）」、「ク
リエイティブ」の、「3つ
の力」を、さらに磨き上
げながら、ふるさと栗山
の発展を願う、すべての
町民の皆さんとともに、
挑戦を続けてまいります。

新年度を、栗山新時代
の「成長の時」と位置づけ、
困難に立ち向かう揺るぎ
ない信念と気概を持って、
町政運営に邁進する決意
であります。

町民の皆さん、議員の
皆さんの一層のご理解と
ご協力を心からお願ひ申
し上げ、令和6年度の町
政執行方針といたします。



ヤングケアラー出前講座

町内の児童・生徒を対象にヤングケアラーについて知り、困ったときの発信方法や自分たちにできることを考えます



栗山子ども会議

毎年「いじめゼロ」をテーマに開催する子ども会議。町内の児童・生徒、介護福祉学生が参加し、自分たちにできることを考えます

令和6年度

教育行政執行方針

令和5年栗山町議会3月定例会議で、吉田政和
教育長が教育行政執行方針を示しましたので、その
内容をお知らせします。

2024
Kuriyama Town
Board of
Education



人口減少や少子高齢化の進行、情報技術やグローバル化の進展などにより人々の価値観やワークスタイルが大きく変わる中、従来の知識や経験だけでは解を見いだすことが難しい時代となっています。

こうした変化の激しい時代にあつて、子どもたちが自らの良さや可能性を認識するとともに、全ての人を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、日本の未来を担う人材を育成することが重要になっております。

同時に教育は、常に普遍的かつ個性的な文化の創造と豊かな社会の実現を目指し、心身ともに健康で文化的な資質をもち、平和で民主的な国家及び地域社会の形成者として自主的精神に満ちた健全な人間の育成と我が国の歴史と文化を尊重し、国際社会に生きる日本人、町民を育むことを期して行わなければなりません。

教育委員会といたしましては、このような考え方に立ち、幼児・児童・生徒が感性、道徳心、知性や体力を育み、人間性豊かに成長することを願い「互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間」

「地域社会の一員として、社会に貢献しようとする人間」「自ら学び・考え・行動する個性と創造性豊かな人間」の育成を教育目標に掲げ、積極的に教育行政を推進してまいります。

また、豊かな自然環境の中で、子どもたちが生涯にわたって主体的に文化・スポーツに親しむことができる人間として成長するよう、関係機関・団体等との一層の連携を図ってまいります。

さらに、教育は学校・家庭・地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行わなければならないものという認識に立つて、すべての町民が教育に参加することを目指します。

学校教育

以下、これら教育目標の達成に向けた具体的な推進方策に関わり、3分野の重点方針を申し上げます。

人権教育と豊かな心を育む教育の推進

教育政策の根幹として位置付けられている学習指導要領に基づき、特に重視することを7点申し上げます。

併せて、学校給食を学習教材とし、栄養のバランスや規則正しい食生活、食品の安全性、自然の恩恵・勤労などへの感謝や食文化等を学ぶ食育を推進します。

また、国の衛生管理方針に基づいた衛生管理を行い、子どもたちや教職員の感染対策を講じつつ、持続的な学校運営に努めます。

一人ひとりを大切にする教育の推進

さらに「第2期栗山町健康増進計画」の趣旨を踏まえ、がんの仕組みや予防・歯と口腔の衛生に関する正しい知識と生活習慣の習得を図るなど、健康教育の推進に取り組みます。

「栗山町いじめの防止等に関する条例」及び「栗山町いじめ防止基本方針」の制定趣旨を踏まえ、いじめ問題への迅速かつ適正な対応を組織的に行うとともに、ピア・サポート活動により子どもたち同士で問題解決に取り組む意識を醸成するなど、いじめ根絶に取り組み学校づくりを推進します。併せて人権尊重の理念を広く定着させ、あらゆる偏見や差別意識の解消を目指し、人権教育の充実を図ります。

また、豊かな体験活動を通して、子どもたちが生命を大切にする心、他人を思いやる心、規範意識を育む教育を行い、発達段階に応じて学校の教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図るとともに、校外学習や移動教室などによる体験学習や集団活動の実践を重ね、他者との交流や協働することの重要性を実感できる、豊かな心を育む教育の充実を図ります。

さらに、地域の施設や環境を活用し、歴史、伝統・文化、芸術等について理解を深め、郷土を愛し、誇りに思う心を育む教育を推進するとともに、身の回りの諸課題を解決する

び共同学習等を通して子どもたちが障がいの有無に関わらず、相互に活動する機会の充実を図ります。

また、学校・家庭・地域・関係機関等が連携し、問題行動の課題に迅速に対応するとともに、ヤングケアラーなどの困難な課題を抱える子どもたちに対する適正な支援、子ども一人ひとりの悩みや状況を迅速に把握し、関係機関との緊密な連携の下で適正な対応に努めるなど、子どもたちが相談しやすい環境づくりを進めます。

さらに、就学前から義務教育修了までの発達段階を円滑につなぐ各種プログラム等の活用や異校種の交流を通して、幼児小中の連携した教育を充実させ、子どもたちの発達や学びの連続性を高めていくとともに、不登校の未然防止や復帰支援、関係機関等と連携した早期発見・早期対応の充実を図り、多面的・多角的な視点から、個々の状況に応じた効果的な改善プランの策定に取り組みます。

安全・安心な学校づくりと教育環境の充実

力を育成し、SDGsの理念に基づき、保護者や地域等と連携して、持続可能な社会の担い手に必要な資質・能力の向上を図ります。

確かな学力の定着と豊かな個性を伸長する教育の推進

予測困難な社会の中でも、様々な困難を乗り越え、人生を切り開いていく力を育むため、発達段階に応じたキャリア教育の充実を図るとともに、ボランティア活動等を推進し、望ましい生活習慣を身に付け、生涯を通じてたくましく生き抜くための基盤を養う教育活動を推進します。

次代の担い手となる子どもたちの知識・技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成、学びに向かう力、人間性等の涵養など、時代の変化に対応できる資質・能力を育成します。そのために主体的・対話的で深い学びの観点から授業改善に努め、学習状況に関する調査や授業改善推進プランを活用した「社会に開かれた教育課程」を編成するとともに、図書館との連携を図り、学校図書館を学習情報センターとして機能させ、読書

子ども自らが自然災害や交通事故、犯罪等の様々な危機を予測し、回避することができ力を高める教育を推進するとともに、地域と連携した防災訓練等の拡充と組織的な体制を整備し、防災教育の充実を図ります。

また、「学校給食における食物アレルギー対応指針」等を参考に、アレルギー対策や事故予防、事故発生時の適切な緊急対応の徹底を図るため、組織的な体制づくりに取り組めます。

さらに、教育環境の向上や防災機能の充実等を図るため、「個別施設計画」に基づき、計画的に学校施設の改修を進めていくとともに、少子化の進展を見据えた中で、本町が実現したい学校教育の在り方やその実現に向けて、地域住民の様々な考え方を理解した上で小・中学校の適正配置について検討を行います。

学校・家庭・地域社会の連携・協働と学校経営改革の推進

チーム学校として組織的な学校経営を行い、「社会に開かれた教育課程」の実現を図る



「栗山と福祉」の授業

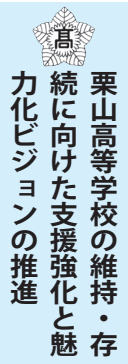
令和5年より栗山高校の授業カリキュラムに新設された学校設定科目。介護福祉学校と連携し、福祉に関する教養や知識を深めます



姉妹都市子ども交歓のつどい

昭和54年から姉妹都市の宮城県角田市と隔年でまちを行き来し、交流を深めています。令和6年度は角田市の子どもたちが町を訪問予定です

教育の維持向上を図ります。



生徒の資質向上と希望進路に対応する各種支援制度を充実し、定員確保と募集2間口維持を実現します。

また、栗山高等学校の「魅力化ビジョン」を実現するため、北海道介護福祉学校との協働を基軸に産学官連携の高校魅力化コンソーシアムによる教育モデルを構築し、魅力ある高校、選ばれる学校づくりを推進します。

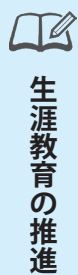
さらに、官民協働により町を挙げて取組を進め、栗山高校女子硬式野球部活動のさらなる充実に向けた環境整備を行うなど、引き続き必要な支援を進めます。

社会教育

社会情勢の変化や教育において多様化する課題を踏まえ、すべての町民が、生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、学校、家庭、地域など様々な場で学び、活動することができるよう環境づく

りに努めるとともに、栗山の豊かな自然、積み重ねられたまちの歴史・文化の良さを活かしながら、みんなで支えあい「ふるさと栗山」を大切に

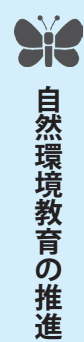
そのため、特に重視することを6点申し上げます。



町民一人ひとりが生涯にわたって生きがいのある豊かな生活を送ることができるよう、趣味や教養などを高める町民講座などの学習機会の提供、高齢者大学「いきいきスクール」の実施など、学びの機会を提供します。

また、子どもたちの望ましい生活習慣確立のため、家庭教育の機能を高める取組を推進するとともに「くりやまキッズクラブ」などを通した自然・社会体験を充実し、町青少年育成事業の支援など、青少年の体験活動の機会を提供します。さらに、豊かな心づくりを目指し、町民の読書活動を支援するとともに、図書館のコミュニティスペースを活用し、誰もが気軽に図書館を利用で

きる環境整備を図ります。



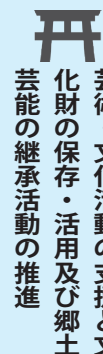
「栗山町自然教育中長期計画」に基づき、関係団体の活動を支援し、自然・里山環境の保全を進めるとともに、自然体験プログラムの充実を図り、町内児童生徒の体験学習支援など、雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウスを拠点とした、本町独自の「ふるさと自然体験教育」を推進します。また、オオムラサキ館の管理運営など、国蝶オオムラサキの生息環境を保全し、その生態を公開するとともに人と自然との共生を推進します。



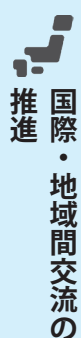
生涯を通してスポーツに親しみ、健康に過ごすことができるよう、スポーツ協会、スポーツ少年団本部の活動を支援するとともに、各種スポーツ事業を通し、スポーツの普及・振興に努めます。また、「第3回くりやまハーフマラソン」を開催し、町民の健康増進はもとより、官民一体となり、まちの賑わいと

活力を創出する大会として定着を図ります。

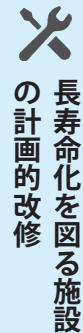
さらに、大学や企業などの合宿・研修などの受入体制の整備を推進します。



演劇・芸術鑑賞事業の実施など、芸術・文化に親しむことのできる環境づくりを推進するとともに、文化連盟など関係団体の活動、町民の文化活動や芸術家の活動、伝統文化の継承などを支援します。また、町の文化財指定や文化財保護に関する啓発活動を推進するとともに、新たな文化財の発掘・指定について検討します。



将来を担う子どもたちに豊かな感性や国際感覚を身に付けさせるため、海外の生活や文化に直接触れることができる海外派遣事業「少年ジェット希望の翼」を継続するとともに、英語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、福島県川俣町の子どもたちと



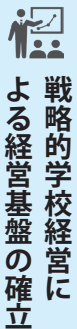
第7次総合計画及び個別施設計画に基づく計画的な補修・改修を行い、社会体育施設及び社会教育施設の適正な維持管理に努めます。

北海道介護福祉学校

本格的な超高齢社会の入り口となる2025年を1年後に控え、介護人材等の需要がますます高まる一方で、社会経済情勢等の変化により、介護職を目指す人材は減少を続けております。

こうした社会的課題に対して、36年にわたり自治体政策として介護福祉士の養成を行ってきた本町には、道内自治体や介護施設等から大きな期待が寄せられていることから、今後も優れた介護福祉士を養成し、町内をはじめ、全国に向けて中核的介護

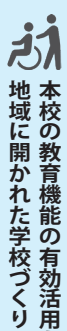
人材を輩出することを目指し、学生確保及び専門職教育等に努めます。そのため、特に重視することを3点申し上げます。



昨年度策定した「北海道介護福祉学校中期経営戦略」に基づき、戦略性を持つて学校経営に取り組み、持続的経営基盤の確立を目指します。最重要課題である学生確保

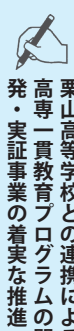
については、様々な角度から対策を進め、定員充足率向上を図るとともに、特色ある教育カリキュラムの下、確かな知識・技術の習得と国家試験合格率100%を目指し、介護福祉分野の先進事例をもとに、様々な地域課題の基礎的な理解力を身に付けることによる幅広い視野と思考を持つた介護福祉士を養成します。

さらに、「地域の介護人材は地域と栗山町で育てる」をテーマとする「介護人材の確保に関する自治体包括連携」の取組をはじめ、町立の専門学校であるこの特質を最大限に活かし、自治体や社会福祉法人などとの連携を推進します。



学生が主体的に取り組む「地域活動研究」で、調査・研究過程における様々な町民との交流をはじめ、学生と町民が共に学ぶ公開講座の実施、ケアラー支援推進に係る連携・協力、社会福祉協議会との連携などを通して地域包括ケアシステム構築の一端を担い、地域に開かれ、町民に期待され、必要とされる学校として実感される取組を進めます。

また、本校の教育機能を活用し、未来の介護人材発掘につながる小中学校での福祉教育を支援するとともに、介護事業所等との連携により介護職員初任者研修を開講し、介護人材の確保に貢献します。



開始2年目となる栗山高校の学校設定科目「栗山と福祉」の取組を推進するため、栗山高校との緊密な連携、協力のもと、地域の中で活躍する人材養成に資する教育プログラムの開発と実践を進め、高専5年間にわたる継続的な学びを推進します。



教育委員会といたしましては、町民一人ひとりが生き生きと学び続けることのできる環境づくりに努めるとともに、これまで積み重ねてきたまちの歴史・文化の良さを活かしながら、次代のくりやまを担う子どもたちが「ふるさと栗山」に愛着と誇りを持ち、将来に夢・希望を持つて成長することができるよう、町民と連携・協働する教育行政を推進してまいります。

町民の皆さん、議員の皆さん、並びに関係機関・団体の皆さんのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。令和6年度の教育行政執行方針いたします。